

緊那羅像

国宝

これは八部衆の一人、緊那羅の像である。インドの神話では、キンナラ（kimnara）と呼ばれており、天上の楽人である。日本の仏教においては、緊那羅は、戦いの神であり、四天王の一人である毘沙門天（多聞天）や、仏教の宇宙論における天界のうちのひとつの支配者である帝釈天の宮廷における家来としての役割を与えられている。

他の八部衆の像と同様に、この像も 734 年につくられた。麻の繊維に漆を塗り重ねた乾漆造で、内部は空洞になっている。